■ 参考資料

目　次

● ライオンズクラブ国際協会組織図，標準クラブ組織図

● ライオンズクラブ国際財団（ＬＣＩＦ）

● 役員および来賓の席順

● グローバル・アクション・チーム（ＧＡＴ）

● 新ライオンズクラブ結成手順

● 結成会次第

● チャーターナイト次第

● チャーターナイト会場

● ライオンズクラブの名称変更，合併，解散手順

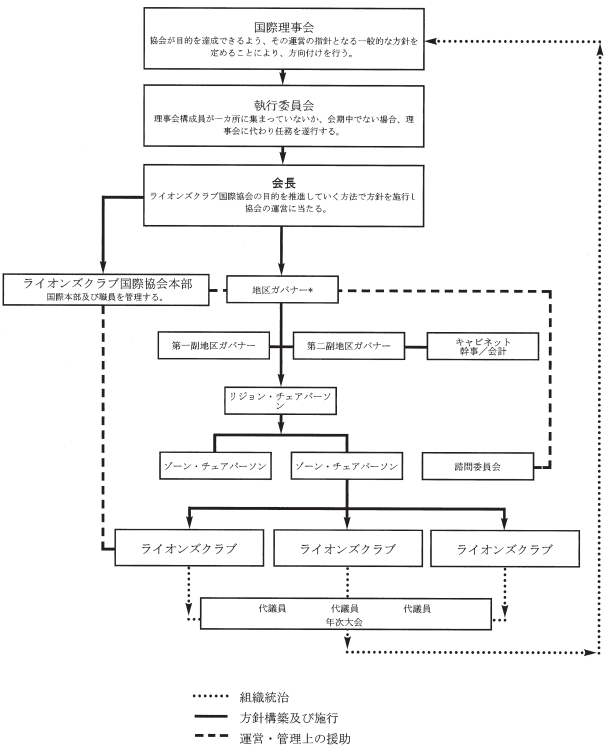
● 世界のライオンズ

● 日本ライオンズ各地区分布図

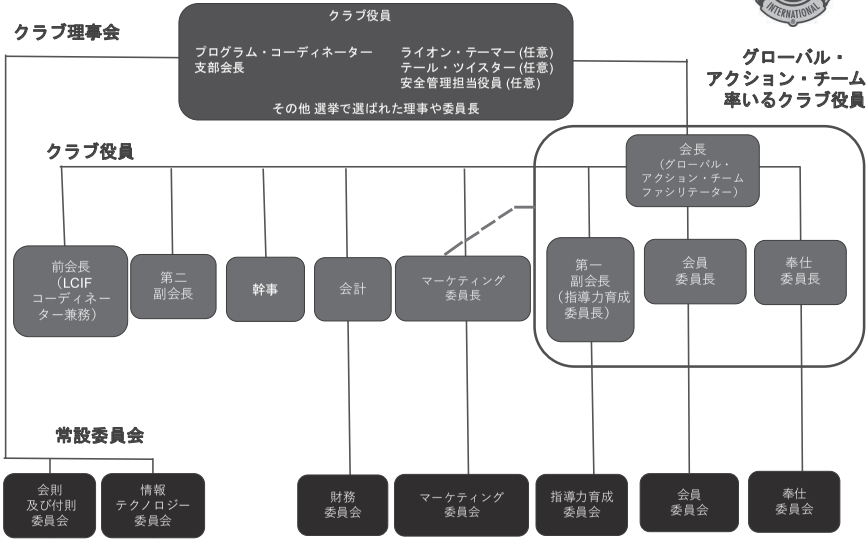
参　考　資　料

ライオンズクラブ国際協会組織図，標準クラブ組織図
ライオンズクラブ国際財団（ＬＣＩＦ）
役員および来賓の席順
グローバル・アクション・チーム（ＧＡＴ）
新ライオンズクラブ結成手順
結成会次第
チャーターナイト次第
チャーターナイト会場
ライオンズクラブの名称変更，合併，解散手順
世界のライオンズ
日本ライオンズ各地区分布図

ライオンズクラブ国際協会組織図



標準クラブ組織図


クラブ理事会
クラブ役員
プログラム・コーディネーター
支部会長
ライオン・テーマー (任意)
テール・ツイスター (任意)
安全管理担当役員 (任意)
その他 選挙で選ばれた理事や委員長
グローバル・
アクション・チームを
率いるクラブ役員
クラブ役員
会長
(グローバル・
アクション・チーム
ファシリテーター)
前会長
(LCIF
コーディネー
ター兼務)
第二
副会長
幹事
会計
マーケティング
委員長
第一
副会長
(指導力育成
委員長)
会員
委員長
奉仕
委員長
常設委員会
会則
及び付則
委員会
情報
テクノロジー
委員会
財務
委員会
マーケティング
委員会
指導力育成
委員会
会員
委員会
奉仕
委員会

ライオンズクラブ国際財団（ＬＣＩＦ）

ライオンズクラブ国際財団（ＬＣＩＦ）は1968年に国際協会によって設立された，米国の内国歳入法典（ＩＲＣ）第501条(c)項(3)項に規定される財団である。寄贈された基金によって人類の福祉に貢献することを目的としており，営利を目的とせずに組織され，またいかなる利益も，関係者に分配しない。財団はＬＣＩＦ理事会によって運営されている。ＬＣＩＦ理事会は，直前国際会長がＬＣＩＦ理事長を務め，現会長及び副会長，八つの会則地域から各１名，会員数の多い国（１番目，２番目），会員一人あたりの寄付額の多い国（１番目～３番目），前・元ＬＣＩＦ理事長，アポンティ２名で構成される。

ＬＣＩＦを支援し寄付を行った会員に対して，その支援を正式に認証し謝意を表するため，各種のアワードプログラムが設けられている。特に，1,000ドルを寄付した人を讃えるために，メルビン・ジョーンズ・フェロー（ＭＪＦ）プログラムが1973年設けられた。1,000ドルを超える寄付をした場合は，プログレス・メルビン・ジョーンズ・フェロー（ＰＭＪＦ）プログラムが加えられ，54のレベルのアワードが用意されている。世界全体のＭＪＦ受賞者は約47万人以上，ＰＭＪＦ受賞者は約99万人以上との報告がある。

ＬＣＩＦは世界保健機関（ＷＨＯ）をはじめ，多くの団体とのパートナーシップを提携している。予防し可能な失明をなくすため，視力ファーストを世界に広げ，2001年 LCIF はスペシャルオリンピックスと提携し，オープニング・アイズ・プログラムを通じて選手の視力スクリーニング検査を始めている。また，ラテン・アメリカとアフリカの河川失明症（オンコセルカ症）の予防のため，カーター・センターに資

金を供与し，アフリカのトラコーマ撲滅に協力している。

ＬＣＩＦの使命とは，「**ライオンズクラブ，ボランティア，そしてパートナーが，世界中の人々の暮らしに影響を及ぼす人道奉仕と交付金を通じて，健康と福祉を改善し，地域社会を強化し，恵まれない人々に支援を提供するとともに，平和と国際理解を促進できるよう，力を与える**」ことである。

各種交付金プログラムが設けられている。人道支援マッチング交付金（旧「一般援助交付金」交付される金額は10,000ドルから100,000ドル），LCIF 緊急援助交付金（10,000ドルまで），糖尿病交付金（複合地区は200,000ドルまでの複数年にわたる交付金），近年新たにレオ奉仕交付金と地区及びクラブシェアリング交付金（DCG）が導入されている。交付金管理者に最終報告書の提出義務があり，例えば，人道支援マッチング交付金事業の場合，最終報告はプロジェクト完了から45日以内に LCIF に提出が必要である。

キャンペーン100：LCIF 奉仕に力を

2018–19年度から2022年6月30日までに集められた資金の総額が，モントリオール国際大会で発表された。

総額 US324, 687, 263ドル

キャンペーン100の資金は次の目的に使われる。

- 奉仕のインパクト強化
- 糖尿病との闘い
- グローバル重点分野の拡大

役員および来賓の席順

公認プロトコール

下記は，ライオンズクラブ国際協会公認プロトコール方針である。主要スピーカーだけが，講演の初頭に挨拶として，臨席の賓客全員の名を挙げて紹介する必要がある。

A．役職の順位

＊役職によっては，特定の会則地域には該当しない場合がある。現地の慣行により，妥当とされるプロトコールを使用する。

ライオンズの順位は，次の通りとする。

1．国際会長
2．前国際会長／ＬＣＩＦ理事長
3．国際副会長（地位の順）
4．元国際会長(b)
5．国際理事
（理事会アポインティ）＊（レオ-ライオン理事会リエゾン）＊＊(a)
6．ＬＣＩＦ理事会
7．元国際理事(c)
8．元 LCIF 理事及び元理事会アポインティ
9．ＧＡＴ／ＬＣＩＦ会則地域リーダー(a)
10．ＬＣＩＦ会則地域副リーダー，ＧＡＴ各国全域リーダー
11．ＬＣＩＦエリアリーダー，ＦＷＣ／ＧＡＴエリアリーダー，日本担当会則地域副リーダー(a)
12．複合地区協議会議長(a)

13. 地区ガバナー
14. コーディネーター・ライオン
15. 国際協会運営役員
16. 複合地区ＦＷＣ／ＧＬＴ／ＧＭＴ／ＧＳＴ／ＬＣＩＦコーディネーター
17. 前地区ガバナー(a)
18. 副地区ガバナー（地位の順）
19. 複合地区の各委員会委員長(a)
20. 元協議会議長(a)
21. 元地区ガバナー(a)
22. 複合地区協議会幹事（ボランティア）(a)
23. 複合地区協議会会計（ボランティア）(a)
24. 地区幹事(a)
25. 地区会計(a)
26. 地区ＦＷＣ／ＧＬＴ／ＧＭＴ／ＧＳＴ／ＬＣＩＦコーディネーター(a)
27. リジョン・チェアパーソン(a)
28. ゾーン・チェアパーソン(a)
29. 地区の各委員会委員長(a)
30. クラブ会長(a)
31. 前クラブ会長(a)
32. 元クラブ会長(a)
33. クラブ幹事(a)
34. クラブ会計(a)
35. 複合地区幹事（職員）(a)
36. 複合地区会計（職員）(a)
37. 地区運営幹事（職員）(a)

〔2022年４月国際理事会決議〕

＊国際理事会委員会メンバー及びＬＣＩＦ執行委員会のメンバーとして国際会長から任命されたアポインティを，同じ役職に就いた他のライオンの前に紹介する。紹介時に，その人がアポインティであることを言い添える。

＊＊レオ-ライオン・リエゾン・プログラムが終了したときには，この役職はプロトコールから削除される。

上記アルファベットの説明

(a)　２名以上いる場合には，姓のアルファベット順で決める。姓の最初の字が同じなら，姓の２番目，３番目と順にずらす。姓が全く同じ場合には，同じ要領で名による。姓も名も同じ場合には，ライオン歴の長い人が先になる。

(b)　２名以上いる場合には，最も近年にその役を務めた人が先になる。

(c)　２名以上いる場合には，元国際会長と同様（上記(b)項参照）によるが，同じ年度に理事を務めた元国際理事が２名以上いる場合には(a)の規定が適用される。

一般事項：ライオンズの役職を二つ以上持つ人の場合は，そのうちの最高役職で順位が決まる。上記のほかに，それぞれの地域の習慣により，特に紹介すべき役職があれば，その地域の習慣に従ってつけ加える。ただし，選出された役員は常に，任命された役員の先になる。メルビン・ジョーンズ・フェローも，まとめて紹介するよう奨励される。スピーカーがメルビン・ジョーンズ・フェローであれば，紹介の際にその旨を述べる。

Ｂ．ノン・ライオン賓客

ノン・ライオンの順位は，それぞれの地域のプロトコールや習慣に従って決めるが，ノン・ライオンが主なスピーカーである場合には，会議議長の右側に席をおく。

C．メーンテーブル座席表

真中に演台が置かれていない場合，主宰役員又は会議議長は常に，1として示される（第1図）真中の席に座らなければならない。主要スピーカーは，2の席につき，他のライオンズの席は，前記の順位リストに従って決められる。出来る限り，議長又は主宰役員（通常，クラブ会長，地区ガバナー，協議会議長，又は国際会長が務める）の両側に同数の席をおくようにする。

（聴衆）　**第1図**

7	5	3	1	2	4	6

第2図が示す通り，演台が置かれる場合のメーンテーブルの座席も大体同じである。但し，会議議長又は主宰役員は，常に（聴衆に向かって）演台の左側に座り，主要スピーカーは右側に座る。

（聴衆）　**第2図**

7	5	3	1	演台	2	4	6	8

配偶者が出席している場合にはテーブルの左側に着席する会員の配偶者はその会員の左隣に，テーブルの右側に着席する会員の配偶者はその会員の右隣にそれぞれ座る。

D．司会者及び会議書記

時には，議長又は主宰役員以外の人が，司会者を務める場合がある。その場合には，司会者は地元の習慣に従った席に座るか，メーンテーブルの端の席につく。しかし順位のリストによって特定の席が決まっている（例えば，地区行事における元国際会長）場合には，その席につく。稀ではあるが，会議書記がいる場合もあり，その時には地元の習慣に従う。

E．二つ以上のメーンテーブル

メーンテーブルが二つ以上ある場合には，最前列にあるテーブルが上位のテーブルとみなされる。同位のライオンズを別々のテーブルに着席することがないよう，留意する。

F．メーンテーブル紹介

メーンテーブルに座っている人の紹介は，会議議長又は主宰役員に続き，最低順位の人から最高順位の人へと逆順に紹介する。配偶者がメーンテーブルに座っている場合には，会員の紹介を先にする。（例えば，山田一郎元国際理事及び花子夫人）

G．国歌

国際理事会の公式代表者として他国のライオン（現職又は元の理事会メンバーに関わらず）が出席しており，その会議で通常国歌が演奏される場合には，そのライオンの国の国歌も演奏して敬意を表するべきである。

グローバル・アクション・チーム（ＧＡＴ）

行動の力を通してクラブを強化

グローバル・アクション・チーム（ＧＡＴ）は，ライオン又はレオの１人が，１日に世界のニーズの１つに奉仕によって応えることをビジョンに編成した。このチームは，ライオンズの３つの重要な分野が統合されたものである。

・指導力育成　・会員増強　・奉仕

グローバル指導力育成チーム（GLT），グローバル会員増強チーム（GMT），グローバル奉仕チーム（GST）をグローバル・アクション・チームとしてまとめることで，クラブの成長と奉仕に相乗効果と新しい機会を創出する。

ミッション―グローバル・アクション・チームは，ライオンとレオの奉仕に対する熱意を基盤に LCI と LCIF のビジョンを支持する。

目的―地区とクラブが目標を達成し，成果を高められるようにする。グローバル・メンバーシップ・アプローチのコミュニケーション窓口となり会員減少に対処する地区への支援。

グローバル・アクション・チームの特長

グローバル・アクション・チームは，クラブに活気をもたらし，次のレベルに進めるよう支援する。

・奉仕事業に役立つ資料の提供と動的な事業の支援
・すべてのライオンの強化に役立つ指導力育成の機会の特定
・思いやりのある新会員の勧誘と既存会員の参加の促進

新ライオンズクラブ結成手順

新しくライオンズクラブを結成するには，以下の条件を満たすことが必要である。

- 20人以上のチャーター・メンバー
- スポンサーとなるクラブ，ゾーン，リジョン，地区キャビネットまたは地区委員会
- 必要事項がもれなく記入されたチャーター申請書及びチャーター・メンバー報告書（MyLCI で提出）
- 現職の地区ガバナーの承認

2つまでのクラブが共同してスポンサーとなることができる。従来型クラブは，もっとも一般的なクラブタイプであり，クラブ支部のタイプでは，会員20名というチャーター要件に満たなくとも小人数でクラブを結成できるので，より迅速に地域社会で活動を開始することができる。チャーター申請に係る手続きは，MyLCI においてオンラインで行う。チャーター費35ドル，転籍チャーター費20ドルを納めた後に，結成が承認される。その後所属の地区ガバナー宛てにチャーター（認証状）が送られるが，結成承認から約45日程度かかる。

2017年 8 月に開始された**スペシャルティクラブ・プログラム**は，共通の関心事と情熱を有する会員の連携を深めるクラブを結成するためのもので，共通する関心事としては，趣味，職業，民族などの背景が考えられる。また，電話やパソコンを使って地域社会に奉仕する**バーチャルクラブ**を選択することもできる。

結成会次第

〔結成会は最初のクラブ例会であり，セレモニーというよりむしろビジネス・ミーティングとして捉えられたい。以下は一例であるので，必須事項（5〜10）が脱落しないかぎり，自由な形式で行ってさしつかえない〕

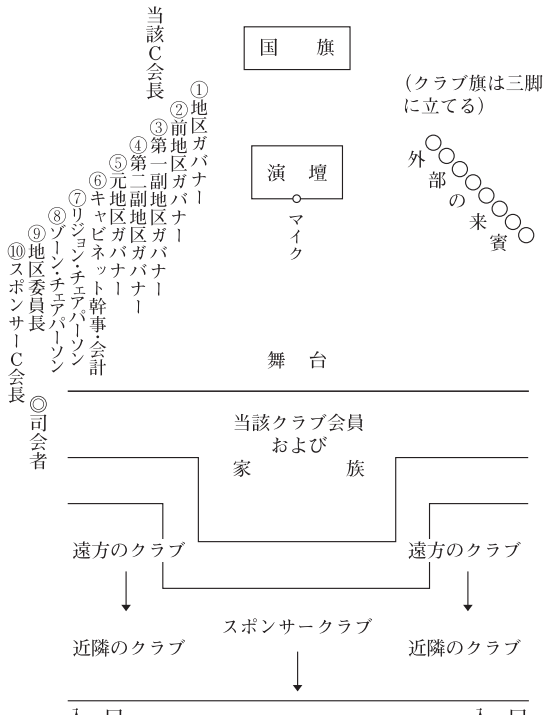
1. 開会のことば
2. 国歌斉唱
3. 地区役員，スポンサークラブ役員などの紹介
4. 経過報告
5. クラブ会則の採択
   （国際理事会が制定している「ライオンズクラブ会則および付則標準版」を採択するよう勧められる）
6. チャーター申請書記載事項など結成に関する諸事項の確認
7. クラブ役員の選出および紹介
8. クラブ入会金，クラブ会費の額の決定
9. 例会の日時・場所，例会費の決定
10. 新クラブ会長によるチャーターナイト委員長の任命
    （委員は，委員長の助言を得て会長が任命する）
11. 地区ガバナーあいさつ
12. 新クラブ会員の紹介
13. 新クラブ会長あいさつ
14. スポンサークラブ会長あいさつ
15. ライオンズ・ソング
16. 閉会のことば

チャーターナイト次第

〔本次第はあくまでも一つの例である。これを参考としてチャーターナイトの精神を尊重し，主要な事項が脱落しないかぎり，自由な形式で行ってさしつかえない〕

1. 開会宣言（会長）
2. 国旗に敬礼，国歌斉唱
3. ライオンズ・ソング
4. 来賓およびキャビネット役員など紹介
5. 歓迎あいさつ（チャーターナイト委員長）
6. チャーター伝達および地区ガバナーあいさつ
7. ホームクラブ会員宣誓
8. スポンサークラブ会長あいさつ
9. 会長謝辞
10. チャーターナイト記念事業発表（会長または副会長）
11. 記念事業目録贈呈
12. 祝辞
13. 祝電披露
14. ライオンズ・ソングおよびライオンズ・ローア
15. 閉会あいさつ（会長または副会長）
16. 閉会宣言（会長）

チャーターナイト会場（一例）



（注）本必携P.199「役員および来賓の席順」参照。

ライオンズクラブ名称変更，合併，解散の手順

地区ガバナーは国際本部の太平洋アジア課に，下記の必要な書類を提出する。

クラブ名称の変更〔申請書〕

1．名称変更がクラブ理事会によって決議されたことを証明する文書
2．クラブ名変更を承認する旨を記した現職地区ガバナーによる署名付き文書
3．名称変更を希望するクラブに隣接する各クラブの同意を示す文書

クラブの合併〔申請書〕

1．それぞれのクラブで合併が承認された旨を示す決議文の写し。
2．合併を承認する地区キャビネットの決議の写し。
3．合併後に存続するクラブの月例会員報告書の写し。それには，合併後解散するクラブの会員が転入会員として報告されていなければならない。
4．国際協会，複合地区，地区に対して未納金を持たないことを示す文書。

クラブの自主解散〔書式は自由〕

1．クラブ解散の決議と理由書。
2．クラブ口座清算の証明（未納なし）。
3．現職地区ガバナーの承認。

註：　国際本部のクラブ解散承認後12カ月以内であれば，クラブ復帰報告書を提出し解散を撤回してクラブを復活させることができる。

世界のライオンズ（2022年6月30日）

国または領域	**200以上**
クラブ数	**50,077**
会員数	**1,374,497**

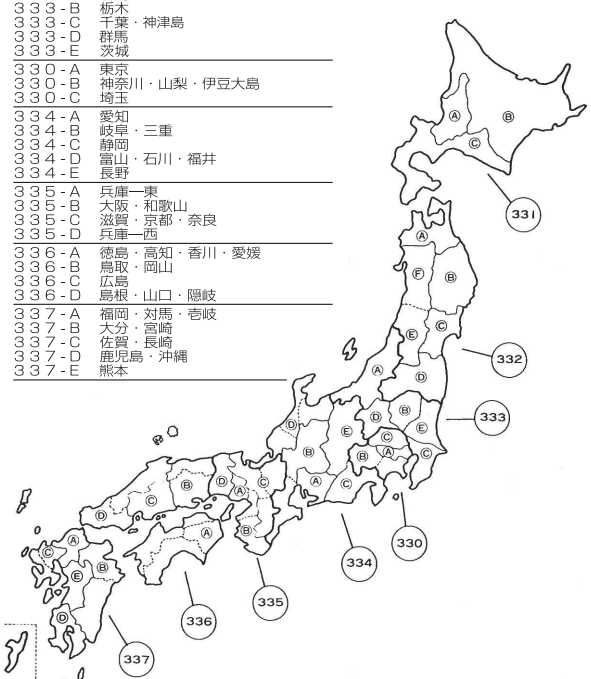
おもなライオンズ10カ国（2022年6月30日）

	国名	クラブ数	会員数	比率
1.	インド	8,803	284,224	(20.7%)
2.	アメリカ合衆国	10,258	268,600	(19.5%)
3.	日本	2,805	98,572	(7.2%)
4.	韓国	2,036	71,826	(5.2%)
5.	ドイツ	1,581	51,416	(3.7%)
6.	ネパール	1,931	42,760	(3.1%)
7.	MD300 台湾	1,205	42,027	(3.1%)
8.	ブラジル	1,446	38,157	(2.8%)
9.	イタリア	1,368	38,437	(2.8%)
10.	カナダ	1,478	31,490	(2.3%)

日本のライオンズ（2022年6月30日）

複合地区	準地区	クラブ数	会員数
330	330-A	191	5,611
	330-B	147	3,571
	330-C	72	1,732
	小計	410	10,914
331	331-A	72	2,330
	331-B	73	2,117
	331-C	43	1,465
	小計	188	5,912
332	332-A	61	1,941
	332-B	50	1,895
	332-C	54	1,525
	332-D	67	2,164
	332-E	51	1,649
	332-F	45	1,254
	小計	328	10,428
333	333-A	69	2,651
	333-B	45	1,428
	333-C	110	2,708
	333-D	47	1,822
	333-E	80	4,017
	小計	351	12,626
334	334-A	108	5,307
	334-B	74	3,662
	334-C	73	2,885
	334-D	92	4,601
	334-E	49	2,287
	小計	396	18,742
335	335-A	69	1,744
	335-B	151	6,328
	335-C	101	3,543
	335-D	57	1,671
	小計	378	13,286
336	336-A	137	5,177
	336-B	85	2,461
	336-C	79	2,858
	336-D	84	2,629
	小計	385	13,125
337	337-A	114	4,487
	337-B	62	2,184
	337-C	73	3,086
	337-D	68	2,124
	337-E	52	1,658
	小計	369	13,539
合計		2,805	98,572

出所：国際協会の月例会員報告累計表より作成。

日本のライオンズ各地区分布図

331-A	北海道―道央
331-B	北海道―道北・道東
331-C	北海道―道南
332-A	青森
332-B	岩手
332-C	宮城
332-D	福島
332-E	山形
332-F	秋田
333-A	新潟
333-B	栃木
333-C	千葉・神津島
333-D	群馬
333-E	茨城
330-A	東京
330-B	神奈川・山梨・伊豆大島
330-C	埼玉
334-A	愛知
334-B	岐阜・三重
334-C	静岡
334-D	富山・石川・福井
334-E	長野
335-A	兵庫―東
335-B	大阪・和歌山
335-C	滋賀・京都・奈良
335-D	兵庫―西
336-A	徳島・高知・香川・愛媛
336-B	鳥取・岡山
336-C	広島
336-D	島根・山口・隠岐
337-A	福岡・対馬・壱岐
337-B	大分・宮崎
337-C	佐賀・長崎
337-D	鹿児島・沖縄
337-E	熊本